

【大切にしてほしい！「自分」も「お友達」も・・・】

先週の「大草っ子の心を見つめる教育週間」では、期間中、保護者や御家族、地域の方々、関係機関の皆様など本当に多くの方々の来校がありました。子供たちにとっては励みとなり、我々学校といたしましても、改めて、たくさんの方々に支えられていることを痛感すると共に、大変心強く感じた次第です。同時に、学校へ対する「期待」のあらわれと捉え、一層気の引き締まる思いがしました。お忙しい中、お暑い中、来校をいただきました皆様方に、この場をお借りして御礼申し上げます。なお、おじいさん・おばあさん方など、この「学校だより(晴るる)」が直接届かない方々にも何かの折に、「御来校ありがとうございました！ぜひ、またいらしてください。」とお伝えいただけましたら幸いです。

さて、この教育週間のスタートにあたり、私からも子供たちに話をする機会を設けました。「心」と「命」について一緒に考えたり、私からの願いを伝えたりしました。私自身の体験である「天国にってしまった教え子」の話をお聴き時の子供たちの真剣な表情が印象的でした。日常的に、「命の大切さ」について指導しておりますが、見ようとしても目に見えない「心」のことや、みんなに一つずつしかない掛け替えのない「命」について、同じ場所で、同じ時間に考える機会になったことは、大きな意味や意義があるものと捉えています。ぜひ、これからも自分の「心」と「命」、そして、お友達や家族、周りの人の「心」と「命」も、大切に、大切にできる「大草っ子」であってほしいと願います。



【第2回学校運営協議会・・・「応援団の集い」】

教育週間の取組の一つとして、今年度2回目の「学校運営協議会」を実施しました。そもそも、この「学校運営協議会」とは・・・なかなか耳慣れないワードかもしれません。簡単に表現すれば「オフィシャルな学校の応援団の集い」です。オフィシャルとは、法令に則った組織であることや、委員の方々に辞令が交付されたり、守秘義務が発生したりすることを指します。ちなみに、この学校運営協議会を設置している学校のことを「コミュニティスクール」と呼びます。ですから、大草小学校では、令和5年度からこのコミュニティスクールとして、学校の応援団の方々と共に学校運営を進めている学校ということになります。市内でも導入が少しずつ進んでおりますが、ここ大草小は先駆的な存在とも言えます。

今回の協議会では、特に、20年以上の実績がある「米作り活動」における「学校田の管理」について話し合いました。

委員の方々からいただいた意見を参考に、「今後も持続できるような仕組みづくり」について、引き続き検討を重ねていくことになりました。御意見を拝聴する中で、委員の皆様方の、大草小学校の現状を自分事として捉えていただいていることや、子供たちや学校、地域の未来像についても真剣に考えていらっしゃることに「さすがだなあ！」と感銘を受けました。これからも、皆様方の想いに応えられるよう、「地域と共にある学校創り」に一層の覚悟と責任をもって臨みたいと思います。※会議の詳細は、今後の安心メールを御覧ください。



【熱中症対策として】

早々に梅雨が明けてから、毎日体温並みの最高気温が続いています。このところは、学校が始まる8時には30℃を越えています。そこで、学校における熱中症対策として、随時水分補給をさせると共に、教室ではエアコンを稼働し過ぎしやすい環境の中で活動に取り組ませております。また、給食指導についても、エアコン設備がない「ランチルーム」ではなく、各教室で実施しています。ただ、子供たちは元気一杯で、昼休みに運動場で遊ぶ子や、体育館で太鼓の練習に励む子も居ります。そこで、外遊びや、体を動かす時間を30分(途中休息あり)までとし、一端(10分程度)エアコンの聞いた教室でクールダウンをした後に掃除等に取り組ませるようにしております。

次に、御家庭へのお願いです。まずは、十分な睡眠時間の確保をお願いします。また、朝でも日差しが強いので、直射日光から頭を守るために、外出時の帽子着用の徹底をお願いします。併せて、子供たちは水道の水を飲みながらない傾向があるため、十分な量(持ち帰った水筒に、少しはお茶が残る程度)のお茶が入った水筒を持たせてください。なお、首元を冷やす「クールネックリング」については、御家庭の判断で活用していただいて結構です。今後も暑い日が続きますが、引き続き、御家庭の協力をいただきながら、子供たちに安全と健康な日常を過ごさせたいと考えます。